



朗読会  
妻が椎茸  
だったころ

作品／ 中島京子氏「妻が椎茸だったころ」  
(講談社刊『妻が椎茸だったころ』収録)

朗読／ 高田伸一氏 (劇団110SHOW)

今年、第42回泉鏡花文学賞を受賞された中島京子氏の短編小説集『妻が椎茸だったころ』より、表題作を朗読します。

定年退職の二日後に妻を亡くした主人公・泰平は、妻の残したレシピ帳の中に「私が椎茸だったころに戻りたい」という不思議な文章を見つけ、生きているうちに知っておけば良かった、もう知ることはできない妻の一面に思いを巡らせます。

泉鏡花の名を冠する賞にふさわしい幻想的なイメージを湛えながら、温かな読後感を残すこの作品を、朗読でお楽しみください。

**平成26年12月6日(土)**

**14:00～15:00(開場13:30)**

参加費無料・申し込み不要

石川四高記念文化交流館 2階 多目的利用室3

---

お問い合わせ／**公益財団法人石川近代文学館**

〒920-0962 金沢市広坂2-2-5 石川四高記念文化交流館内 ☎076-262-5464  
<http://www.pref.ishikawa.jp/shiko-kinbun/> twitter: @ishikinbun